

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

こんにちは、らくだです。

カクヨムで新たなコンテストの開催が決定しました。
今回はサイバーセキュリティをテーマにした一風変わったコンテストです。

【サイバーセキュリティ小説コンテスト】

https://kakuyomu.jp/contests/cyber_security

- ・ 募集内容 サイバーセキュリティをテーマとした小説作品
- ・ 開催期間 2018年3月31日(土)～2018年8月31日(金)
- ・ 規定字数 10万字～16万字
- ・ 大賞作品 賞金100万円&スニーカー文庫で書籍化

あれ……？

協賛の欄に自分が前に勤めていた会社が……？

いやまあそれはいいとして。

今回気になるのは公式ブログに書いてあるこの文章。

「サイバーセキュリティに詳しい方でなくても、JNSA から、執筆をターゲットとしたサイバーセキュリティセミナーの開催、題材になる資料提供、アドバイス、取材協力など、多方面でのサポートを行ってもらえるというお得感満載のコンテストとなっています」

つまり自分のようなアナログ人間でも、主催者側が多方面でサポートしてくれるから、サイバーセキュリティ小説が書けるかも……ということですね。

具体的な段取りなどはまだ発表されていませんが、あまり例のないことですし、今後の動向について注目していきたいと思います。

こんにちは、らくだです。

3月1日にカクヨムが2周年を迎えました。
それを記念して2周年記念企画が実施されています。

全部で3つの企画があるようですが、今回はその1として、プレゼントキャンペーンをご紹介します。

【カクヨム 2 周年記念企画】

https://kakuyomu.jp/special/entry/2nd_anniversary

<プレゼント内容>

- ・国内温泉宿 1泊2日 (1組2名)
- ・ソウ・エクスペリエンス体験ギフト (5名)
- ・iPad 32GB モデル (3名)
- ・カクヨムコン大賞作品 4冊セット (5名)
- ・ムビチケ GIFT カードタイプ 1500円分 (50名)
- ・オリジナルメモ&ボールペンセット (100名)
- ・オリジナルブックカバー・文庫サイズ (100名)

<応募締切>

2018年3月31日(土)

<応募方法>

上記特設サイト内のリンクから応募

なお簡単なアンケートがありますが基本的に選択形式。
自由に記述する欄は「カクヨムを使った感想」だけになっています。

というわけで皆様もいかがでしょうか。
自分は体験ギフトに応募したので当選するといいなと思います。

こんにちは、らくだです。

そろそろ花粉が気になる季節になってきました。
幸い自分は軽症ですが皆様も気を付けてお過ごしください。

さてさて。
カクヨムで実施されている 2 周年記念企画。

前回書いたプレゼントキャンペーン以外にも、「新キャラクタープロフィールコンテスト」が開催中なので、今回はその件について紹介しようと思います。

【カクヨム 2 周年記念企画】

https://kakuyomu.jp/special/entry/2nd_anniversary

特設サイトにカクヨムの新キャラが載っていますが、設定はまだ白紙なので、プロフィールを皆で自由に考えようという企画です。

締切は 2018 年 3 月 31 日で、みごと大賞に選出された場合、そのプロフィールが公式設定になる模様。

必要項目は、

- ・ 名前
- ・ 通称
- ・ 誕生日
- ・ 座右の銘
- ・ 紹介文 (1,000 字以内)

なお今は新キャラ A のみ載っていますが、近日中に新キャラ B のイラストもアップされるようなので、その時にはまた紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで実施されている 2 周年記念企画。
気になるその 3 はユーザーミーティングに関する情報です。

【カクヨム 2 周年記念企画】

https://kakuyomu.jp/special/entry/2nd_anniversary

- ・タイトル カクヨムユーザーミーティング Vol.5 二周年記念 SP
- ・開催日時 2018 年 4 月 20 日（金）19 時～21 時
- ・開催場所 都内某所
- ・参加費用 無料
- ・参加資格 カクヨムの会員登録ユーザー
- ・応募詳細 3 月中旬よりお知らせ

イベントの説明には、

「コンテストを主催する編集部が参加するユーザーミーティング【プロット講評会】を開催！プロットをプロの編集者がみしてくれるレアな機会！」

と書いてあります。

編集さんと接点のない投稿者にとっては貴重な機会ですね。

ちなみにユーザーミーティングについては公式ブログにレポートが。

過去の写真が載っている記事もあるので、イベントの全体的な雰囲気など、イメージしやすいのではないのでしょうか。

【カクヨムユーザーミーティングまとめ】

なお募集は 3 月中旬からなので、プロット講評会がどんな形式なのか、詳細情報を待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトで新しい投稿企画が始まりました。
毎回変わったコンテストが多いですが今回も相当な変化球です。

【編集（て）の妄想バブル小説賞】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/bubble_novel/

バブル小説のコンテスト！

そのころ生きてたワイ圧倒的に有利！

と思いつつ応募要項を見たら「ネットの知識や親世代から聞いた話も OK」とか書いてあって完全に草。

そうよね……。

当時の若者はもう親になってるのよね……。

それはさておき概要はこんな感じ。

おふざけ企画（誉め言葉）のせいか締切はエイプリルフールです。

- ・ 募集内容 「あなたの考える最強のバブル時代」をテーマにした小説
- ・ 規定枚数 400字詰め原稿用紙換算で3～30枚
- ・ 受賞特典 5,000円分の図書カード
- ・ 応募締切 2018年4月1日（日）

バブルといえば今から約30年前ですが、近ごろ再ブームになっている感じもありますし、実際に経験した方もそうでない方も挑戦してみてもいいのではないでしょうか。

以上、「編集（て）の妄想バブル小説賞」の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

電撃の締切が約1か月後に迫っていますね。
投稿予定の皆様は追い込みで忙しい時期でしょうか。

そんな電撃大賞ですが、前回（第24回）の受賞者プロフィールや選評等が、先日アップされました。

リンクはこちら。
各タイトルをクリックすると詳細が確認できます。

【第24回電撃大賞】

http://dengekitaisho.jp/archive/index_24.html

掲載項目は、

- ・ 受賞者プロフィール
- ・ 受賞者コメント
- ・ 作品のあらすじ
- ・ 選考委員選評

となっていますが、選評は複数の編集さんが書いているので、これから投稿予定の方にとっては参考になるかもしれません。

あと小説はもちろんですが、イラスト部門やコミック部門の受賞作も載っているので、チェックすると見応えが。

「受賞したらこの絵師さんに挿絵を頼みたい！」
イラストを見ながらそんな妄想をするのも楽しいですよ。

以上、第24回電撃大賞サイト更新の紹介でした。

提督ワナビのらくだです。

艦これの冬イベントでアイオワを入手して全艦所持を達成しました。

ソシャゲやブラウザゲームって、ハマりすぎると執筆時間が減りますが、うまく付き合えば楽しいですよ
ね。

さてさて。

ゲーム関連の話題といえば、えんため大賞 Gz ブレインゲーム小説コンテスト部門の 1 次結果が、公式サイト
に UP されました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/gamenovel_entry.html

- ・ 応募総数 251 本
- ・ 1 次通過 27 本
- ・ 通過率 約 11 %

ちなみにこの賞はえんため大賞の 1 部門ですが、応募方法が「小説家になろうでキーワードをつける」な
ので、気になったタイトルはなろうで閲覧可能です。

カドカワなのに何故……。

カクヨムの立場って一体……。

それはともかく、最終発表は 3 月下旬と書いてあるので、サイトが更新されたらまた紹介したいと思いま
す。

こんにちは、らくだです。

コバルト短編小説新人賞の2016年度（2016年6月～2017年4月）年間最優秀賞が発表されました。

みごと最優秀賞に輝いた1作品と、最終選考に残った6作品が、下記ページで紹介されています。

【発表ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award-2016/>

【選評】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award-2016-comment/>

コバルトの選評は辛口な印象がありますが、今回は全体的に改善点よりも各作品のいい部分がクローズアップされている感じで、なごやかな選評になっていると思います。

別に辛口が悪いわけじゃないですよ！

良薬口に苦しって言葉もありますし！

しかし自分は豆腐メンタルで、辛口すぎるコメントには耐えられないので、コバルトの選評と向き合うには相当な勇気が……（目そらし）

それはともかく、受賞作の他に受賞記念作（別作品）も載っているので、少女系の投稿者さんはチェックしてみてもいかがでしょうか。

なおコバルトの投稿企画といえば、先日紹介した「妄想バブル小説賞」が個人的に気になっているので、ネタを考えてみようと思います。

こんにちは、らくだです。

小説家になろうとポプラ社がコラボして「ピュアフル小説大賞」というコンテストを開催する模様です。

以下リンク。

自分は今やっと気が付きましたが3月1日に始まっていたようです。

【ピュアフル小説大賞】

<https://www.poplar.co.jp/topics/43959.html>

- ・ 募集内容 日常を舞台にした心をピュアにゆさぶる小説
- ・ 応募締切 2018年5月16日(水)
- ・ 規定字数 10万字程度
- ・ 受賞特典 賞金10万円&書籍化

<応募条件>

- ・ 新作推奨
- ・ 書籍化を想定し完結推奨
- ・ 300字程度のあらすじを記載
- ・ 主人公は高校生以上であること
- ・ ある程度現実味のあるストーリー展開であること

(※作品全体を通してリアリティの感じられるストーリーであれば、若干のファンタジー・SF等の要素を含むのは問題ありません)

最後の項目は特に判断が難しいですね……。

リアリティの感じ方には個人差もありますし……。

何はともあれ、ピュアをテーマにした賞は珍しいですし、ご興味を持たれた方はチェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

電撃のマイページに登録している人には「締切まで1か月だよ！」というお知らせメールが届いているとか。

その事実焦っている投稿者さんも多いようですが、電撃に投稿しない上に、マイページが自動削除された自分は低みの見物です。

いいもん……。

どうせおままごとレベルだもん……。

それはさておき電撃が4月からカクヨムに参加する模様。
本日更新されたカクヨム公式ブログにて発表がありました。

【「電撃文庫」がカクヨムに参戦！】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/dengekibunko>

電撃作品が読めるのも嬉しいですが、投稿者にとっての朗報は「電撃文庫主催のコンテスト企画も進行中」、これに尽きるのではないのでしょうか。

2年前にカクヨムがオープンした時、電撃の不参加を嘆いていた投稿者さんが、自分の周囲では結構多かったですからね。

可能性としては、

- ・ 電撃大賞がカクヨム応募可能になる
- ・ 電撃大賞とは別のコンテストが新設される

この2つだと思いますが、詳細は随時発表されるようなので、今後の情報をしっかり追ってみたいです。

第3回カクヨムコンの中間発表- 2018.03.11 Sun

こんにちは、らくだです。

第3回カクヨム web 小説コンテストの中間発表がありました。
通過率は前回の10%からちょっと下がって7%だったようです。

以下リンク。

作品が掲載された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

https://kakuyomu.jp/contests/kakuyomu_web_novel_003/nominated

- ・ 応募総数 3,015 本
- ・ 中間通過 211 本
- ・ 通過率 約7%

ちなみにカクヨムコンの応募数は、

- ・ 第1回 5,788 本
- ・ 第2回 2,690 本
- ・ 第3回 3,015 本

失礼ながら第2回で大きく減ったのはわかります。

第1回のカクヨムコンでは色々と不正行為があったので。

(相手の作品を読まずに★をつけて評価バックを期待する、等)

ただ現在は過去の問題が解決されてきているし、読み専のユーザーも徐々に増えつつあるようなので、第3回でまた持ち直したのかなと思います。

なお最終発表は2018年5月とのこと。

どの作品が受賞するのか更新を楽しみに待ちたいです。

こんにちは、らくだです。

カクヨムユーザーミーティング Vol.5 の詳細が発表されました。
今回は 2 周年記念企画の一環としてスペシャル仕様で開催されます。

詳細情報は公式ブログをご覧ください。

【カクヨムユーザーミーティング Vol.5】

https://kakuyomu.jp/info/entry/kum_vol5

- ・タイトル カクヨムユーザーミーティング Vol.5 二周年記念 SP
- ・開催日時 2018 年 4 月 20 日（金）19 時～21 時
- ・開催場所 都内某所
- ・参加費用 無料
- ・参加資格 カクヨムの会員登録ユーザー
- ・応募締切 3 月 25 日（日）

なおイベントの内容は、

- ・第 1 部 トークイベント「テーマを決めた作品の作り方」
- ・第 2 部 プロット講評会

（※プロットシートは参加者にのみ事前配布、事前提出）

となっている模様。

編集者さんにプロットを見てもらえる貴重な機会です。

なお個人的には、募集要項の中にサラッと書いてある「地域に紐づくいい話ネタのコンテスト開催を近日発表予定！」という言及が気になるところ。

果たして小説なのかエッセイなのか。

詳細情報の発表を期待して待ちたいと思います。

皆様こんにちは。

今回は久しぶりにおでかけ記事です。

大阪城公園の梅林が見頃だと聞いたので行ってみました。



こちらは最寄り駅の JR 大阪城公園駅。

去年 6 月に写真右のデッキが完成しました。

先へ進むとレストランなどの商業施設があります。



すぐ近くには大阪城ホールがありますが、これまでは休む場所や食事する場所がなかったので、この施設のオープンありがたい限り。

人気のパンケーキ屋「gram」もありました。

その他にもお土産ショップやインフォメーションなどがあります。



中でも一番インパクトがあったのは下のお店。

このクレープ屋！
メニューの量が半端じゃない！



多すぎやろ！
100 個くらいあるで！

果たして店員さんは全部覚えているのでしょうか（汗）



こちらはテイクアウトした物を食べるエリア。
大阪城ゆかりの人物と一緒に記念写真も撮れます。

なんて思いながらふと見ると……。



機関車風のバスが走っていました。

ロードトレインという園内を半周するバスだそうです。

大阪城公園は好きですが、あまりに広すぎて疲れる時も結構あるので、移動手段にいいですね。



続いて下はローソン大阪城公園店。

店へ入ってみると機関車が展示されていました。

調べたところ大阪市に寄贈された C58 形蒸気機関車の 66 号機だとか。



ローソンでカラアゲを買っていざ梅林へ。
ですが長くなったので続きは次回お届けしたいと思います。

【次回へ続く】

皆様こんにちは。

前回のブログは前置きが長すぎて、梅林へ辿り着かずに終わりましたが、今回はきちんと梅林を紹介します。



こちらは大阪城の東北にある青屋門。

門をくぐるとお城が見えました。
幸い天気もよく雲一つ見当たりません。



看板を目印に南へ進んで行くと……。

梅林に到着！
みごとに満開です！



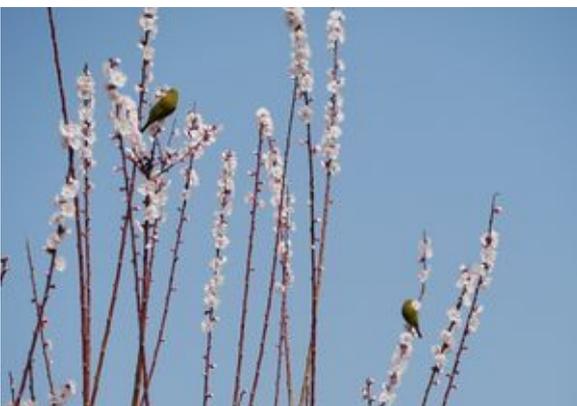
早咲きや遅咲きの品種もあるので、枝だけの樹もありましたが、全体的には今が見頃だと思います。

ピンクとブルーのコントラストが素敵ですね。



枝の先をよく見ると……。

小さな鳥がいました。
どうやらメジロのようです。



姿こそ見えませんでした、
「ホーホケキョ」という、ウグイスの鳴き声もしました。

大阪城公園には他にも色々な野鳥が。
花と一緒にバードウォッチングをするのも楽しいです。



さて、ここで昼食タイム！

ベンチに座ってお弁当を食べました。

写真はありますがローソンのカラアゲも持参。



何気ない普通のおにぎりも、青空の下でゆっくり食べると、一層おいしく感じられます。

気持ちって大事ですね。

近ごろ食欲がなかったので、こんな感覚は久しぶりです。



以上、大阪城公園の梅林でした。

敷地内には他にも桃園がありますし、これからは桜の季節でもあるので、天気の良い日にまた行きたいと思います。

こんにちは、らくだです。

ビーンズ小説大賞ジュニア部門の結果発表がありました。
今回は応募数 50 本の中から 3 本の作品が選ばれた模様です。

以下リンク。

受賞者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://beans.kadokawa.co.jp/award/17th-award/entry-1286.html>

またグランプリ作品『奇跡の歌声』が公開されています。
発表ページからも辿り着けますが念のため直接のリンクを。

【『奇跡の歌声』】

<https://beans.kadokawa.co.jp/award/17th-award/entry-1287.html>

ちなみに今回の賞は、ジュニア部門という名前の通り、18 歳以下のみ応募可能という制約がありました。

その中で 50 本も応募があったのは正直多いと思います。
参考までに書いておくと年齢制限のない直近のビーンズは 363 本でした。

理由は色々考えられますが、今は中学生や高校生でもスマホを持っている場合が多いですし、文章をネットに載せるのに抵抗がない子が増えているのかもしれないね。

なおジュニア部門は今後も開催されるようなので、応募要項が発表されたら紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

第6回角川つばさ文庫小説賞の結果発表がありました。

以下リンク。

受賞された皆様はおめでとうございます。

【一般部門】

<https://tsubasabunko.jp/award/announce-ippanVol06.html>

【こども部門】

<https://tsubasabunko.jp/award/announce-kodomoVol06.html>

今回の一般部門の金賞作品は、カクヨム経由の応募だったため、カクヨムブログでも結果が紹介されています。

最近カクヨムから応募可能な賞が増えていますが、今回の受賞を受けて、こういう例がますます増えていくかもしれませんね。

そして、こども部門。

近ごろ「こどもの本離れ」なんて言葉も聞きますが、応募数は428本もあり、結果を見ると中には小学校低学年の受賞者もいる模様。

先日紹介したビーンズ大賞ジュニア部門もそうですが、若い頃から創作を始めるのは素晴らしいことだと思いますし、こういう流れが今後どんどん活発になって欲しいです。

なおカクヨム応募は次回以降も継続で、受付期間は「2018年7月1日（日）～8月31日（金）」となっているので、時期が来たらまた紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで新たなコンテストが発表されました。
その名も「ウォーカー presents 地元のイイ話コンテスト」です。

詳細は公式サイトをご覧ください。

【地元のイイ話コンテスト】

https://kakuyomu.jp/contests/walker_contest

- ・ 募集内容 現代の日本で実際に起こった「地元のイイ話」
- ・ 開催期間 2018年4月20日（金）～2018年6月30日（土）
- ・ 規定字数 80,000字以上（完結必須）
- ・ 大賞特典 賞金100万円＋ウォーカー編集部から書籍化

個人的に地域モノは大好きなので、このコンテストの詳細発表には期待していたのですが、いやーなかなか厳しいですねえ……（汗）

まずは規定字数。

80,000字以上という長編小説並みのボリューム。

しかも募集するのはノンフィクション。

勝手に捏造できないので題材探しが大変です。

今パッと思い付いたのは、「〇〇高校、甲子園出場秘話！」みたいな話ですが、なにかしら縁がないと取材するのも難しそうですね。

まあとにかく、受付開始は4月20日からなので、どんな作品が集まるのか見守りたいと思います。

第2回フェアリーキス大賞- 2018.03.18 Sun

こんにちは、らくだです。

以前小説家になろうで開催された、Jパブリッシングが主催の「フェアリーキス大賞」ですが、3月15日から第2回が始まりました。

詳細は公式サイトをご覧ください。

【第2回フェアリーキス大賞】

<http://www.j-publishing.co.jp/fairykissaward2/>

- ・ 募集内容 異世界を舞台にした女性向け恋愛小説
- ・ 応募条件 R15 までの作品（完結・未完は問わない）
- ・ 規定字数 応募要項に記載がないのでおそらく自由？
- ・ 開催期間 2018年3月15日（金）～2018年7月15日（日）
- ・ 選考段階 1次選考→2次選考→読者投票→最終結果発表
- ・ 応募方法 なろうに小説を載せ『フェアリーキス大賞2』のキーワードを設定
- ・ 受賞賞金 大賞30万円、金賞10万円、銀賞5万円

なお注意事項の欄には、

「前回応募された作品であっても構いません。再チャレンジも可能です」

と書いてあります。

再投稿を禁止する賞が多い中、この規定は正直珍しいですね。

あとこのレーベルの場合、コンセプトが明確（女性向け・異世界・恋愛小説）なので、変にカテエラを心配する必要がなく応募しやすいかと思います。

そんなわけで、該当する作品を書かれる皆様は、チャレンジしてみてもいいのではないでしょうか。

こんにちは、らくだです。

先月 2 月 28 日（水）が締切だった「第 31 回後期ファンタジア大賞」の応募総数が発表されています。

今回は 509 本が集まった模様。

4 月下旬の 1 次発表が楽しみです。

【応募総数発表】

<https://www.fantasiataisho.com/news/#n547>

ちなみに次回の募集も始まっていますが、新しい試みとして、ゲスト投稿という機能が追加されました。

詳細は公式サイトのお応募要項をご覧ください。

【応募要項】

<https://www.fantasiataisho.com/guideline/>

マイページ登録をせずに投稿できるようですが……。

基本情報（名前や連絡先）はどのみち入力しないといけないし、なにより選評が貰えないので、わざわざゲスト投稿を選ぶメリットはあまりないような気が。

考えられる状況としては「評価シートはいらない」「あとあと個人情報を残したくない」って場合に使う感じでしょうか。

ともあれ選択肢が広がったのはいいことですし、今後の経過をひっそり見守りたいと思います。

こんにちは、らくだです。

第12回ガガガの最終発表がありました。
受賞された皆様はおめでとうございます。

今回の受賞率は最終的に約0.5%という激戦でした。

【発表ページ】

http://gagagabunko.jp/grandprix/entry12_FinalResult.html

- ・応募総数 1,077本
- ・1次通過 103本（約10%）
- ・2次通過 11本（約1%）
- ・受賞 5本（約0.5%）

個人的に目を引いた作品は、
『《このラブコメがすごい！！》堂々の三位』未確認飛行オレオ

これ、どう見ても帯の広告文章に見えますが、これ自体が作品タイトルなんですよね（汗）

気になって内容紹介を見たら、「まとめサイト管理人と作家志望の少女のラブコメ」とあったので、なるほどなあって思いました。

なお発売予定日の情報も公開されています。
いずれの作品も5月～7月に発売されるとか。

今ごろ受賞者さんは忙しい時期でしょうが、紹介ページに「受賞時から改稿を加えますます面白くなっている」と書いてありますし、今後の発売を楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

ここ数日また寒くなってきましたね。
もう3月も下旬なのに春の訪れが待ち遠しいです。

さてさて。
スニーカー大賞の締切が10日後に迫ってきました。

投稿予定の皆様はご存知かと思いますが、今回から大規模なリニューアルが実施されているので、応募要項をチェックしておきましょう。

【応募要項】

<http://sneakerbunko.jp/award/boshu24th.php>

<主な注意点>

- ・ 締切が年1回（4月1日）に変更
- ・ 大賞賞金が100万円から200万円に
- ・ 完全ウェブ応募&カクヨムからの応募も可能
- ・ 過去に応募した原稿を改稿しての再投稿は禁止
- ・ 評価シートは3次選考以上を通過した希望者にのみ送付

今までは締切が5月1日だったので、電撃に投稿してから猛スピードでスニーカーの原稿を書く……なんていう速筆な投稿者さんもいましたが、今回の変更でそれは難しくなりました。

いずれにせよ、4月への変更はレーベルの戦略あつてのことでしょうし、今回のリニューアルでどんな変化が起こるのか見守りたいと思います。

以上、スニーカーの締切変更の話題でした。

こんにちは、らくだです。

第 14 回 MF 文庫 J 新人賞（12 月締切分）の 1 次発表がありました。

更新日が 3 月 23 日という未来の日付になっていますが、何はともあれ通過された皆様はおめでとうございます。

今回の通過者年齢は 15 歳～65 歳だった模様。

幅広い年代の投稿者さんの活躍は見ていて励みになります。

【発表ページ】

<http://bc.mediafactory.jp/bunkoj/award/result/#third>

- ・ 応募総数 532 本
- ・ 1 次通過 167 本
- ・ 通過率 約 31 %

働き方が多様化する今の時代ですが、それでも一般的には、65 歳というと定年する年齢ですよ。

純文学や一般小説ならともかく、その年齢でライトノベルの賞に応募して、しかも MFJ で通過するってなかなか難しいことじゃないでしょうか。

逆に 15 歳の投稿者さんも、学年を考えると中 3 か高 1 なわけですし、その若さで小説を書いてしっかり通過していることが凄いです。

自分がその年齢の頃は、本は好きだけど完全に読む専門で、まさか小説を書こうなんて夢にも思わなかったなあ……。

いずれにせよ、夢を追う人間の姿は見る者に勇気を与えますし、自分も投稿者の一員として頑張っていこうと思いました。

こんにちは、らくだです。

何気なくツイッターを眺めていたら、『電撃の締切直前の「みんなで頑張ってる感じ」が好き』という人を見ましたが、その気持ちは非常によくわかる気が。

あの感覚は独特ですよね。

不参加の自分が言うのも変ですが、他の賞にはない魅力だと思います。

さてさて。

えんため大賞の第20回企画として実施された、Gzブレインゲーム小説コンテスト部門の最終候補作品が、公式ホームページに先日アップされました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/gamenovel_entry.html

- ・応募総数 251本
- ・1次通過 27本（約11%）
- ・最終候補 8本（約3%）

というわけで全体の3%にあたる8本が残った模様。

なお最終選考の結果については、当初は3月下旬発表の予定でしたが、4月上旬に延期との告知がありました。

まあ選考のスケジュールが押しているのは、裏を返せばそれだけ力作が集まったという意味でしょうし、サイトの更新を楽しみに待ちたいと思います。

こんにちは、らくだです。

タイヤメーカーのブリヂストンが「タイヤで五・七・GO！」という俳句コンテストを実施中です。

小説の賞ではないですが、面白いのでリンクを紹介。

<タイヤで五・七・GO！>

<https://tire.bridgestone.co.jp/tire-hosomichi/campaign/>

【募集内容】「タイヤ」か「ドライブ」をテーマにした俳句

【受付期間】2018年2月28日（水）～2018年5月31日（木）

【応募方法】ウェブ応募 or ツイッターでハッシュタグをつけて応募

【賞品】

- ・ グランプリ賞 東京2020オリンピック宿泊付き観戦ツアー（1名）
- ・ 優秀賞 10万円分のVISAブランドの商品券（5名）
- ・ Wチャンス 1,000円分のVISAプリペイドカード（500名）

なお注意事項に、

- ・ 多少の字余り、字足らずはOK
- ・ 季語ひとつが基本だけどなくてもOK

と書いてあります。

あまり形式にとらわれず気軽に応募できそうですね。

というわけで、俳句をたしなむ投稿者の皆様は、チャレンジしてみてもはいかがでしょうか。

以上、「タイヤで五・七・GO！」俳句コンテストの紹介でした。

こんにちは、らくだです。

第6回ネット小説大賞（なろうコン）の1次発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://www.cg-con.com/novel/6_novelcon/info/002.html

- ・ 応募総数 10,156 本
- ・ 1次通過 596 本
- ・ 通過率 約6%

ちょっと、ちょっと！

応募総数 10,000 超えとか、一人勝ちじゃないですか！

しかもなろうコンのすごい部分は、それだけ圧倒的な応募数を集めておきつつ、選考がランキング至上主義じゃないところですよ。

実際に今回の1次通過リストを見ても、ポイント1ケタや2ケタの作品が載っていますし、これは賞として非常に大きな魅力かと。

たとえばカ〇ヨムコンとかは、読者ランキングで上位に行かなければ、そもそも読んでもらえないシステムですからね……。

それはともかく、発表ページには選考のポイントなどが載っているので、なろうコンに参加しなかった投稿者さんにとっても参考になるのではないのでしょうか。

なお2次発表は4月下旬のようなので、公式サイトが更新されたら、また改めて紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

第 10 回 GA 文庫大賞（後期）の最終発表がありました。

以下リンク。

受賞された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://ga.sbcr.jp/novel/taisyo/10/index.html>

- ・ 応募総数 658 本
- ・ 1 次通過 177 本（約 27 %）
- ・ 2 次通過 43 本（約 7 %）
- ・ 3 次通過 7 本（約 1 %）
- ・ 奨励賞 3 本（約 0.5 %）

ところで GA の発表は 50 音順なので、自分の名前を探しやすくするために、あ行のペンネームで応募する人がいると聞いたことがあります。

その件を思い出してリストを見たら、確かに他の新人賞と比較して、あで始まるペンネームが多いような。

しかしコレ、「探しやすい＝名前がなかった場合もすぐわかる」なので、落選のショックが大きくなりそうな気がしますけどね……。

（いやまあ落ちなきゃいいんだけど！）

そんなこんなの GA ですが、奨励賞の中から選出される通期の大賞作品は、4 月末ごろに発表だとか。

今回の候補作品は 5 本なので、公式サイトが更新されたら、また紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

第7回集英社ライトノベル新人賞（後期）の最終発表がありました。

気付くのが遅れましたが23日に更新されたようです。

何はともあれ入選された方はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx7thAwardLate/result.php>

- ・ 応募総数 368 本
- ・ 1次通過 78 本（約 21 %）
- ・ 2次通過 20 本（約 5 %）
- ・ 3次通過 5 本（約 1 %）
- ・ 入選 1 本（約 0.3 %）

なお入選作に対するクロスレビューも公開中。

【クロスレビュー】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx7thAwardLate/crossreview.php>

しかしコレ、「意外なオチもスタッフの間で好評」というコメントがある一方、下の方の別の編集者さんは「終わり方は不満」という正反対の意見を書いてるんですよね。

人によって価値観が違うのは当たり前とはいえ、同じレーベルの中で、こうまで捉え方が真逆なのは面白いと感じました。

ちなみに GA 同様、こちらの賞も通期の受賞作はこれから発表されるので、情報が更新されたらまた紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

3月27日にカクヨム甲子園の贈賞式が開催された模様。
カクヨム公式ブログに詳細レポートがアップされました。

【カクヨム甲子園・贈賞式】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2018032801>

今回のレポートは写真入り。
主に次のような画像が載っています。

- ・満開の桜
- ・会場入口の様子
- ・記念品のトロフィー
- ・祝賀会の料理（おいしそう！）

ちなみに今回のコンテストは、甲子園というタイトルの通り、参加者は高校生限定でした。

なのでもちろん受賞者も全員高校生なわけで、祝賀会の料理の後ろに、制服姿の写真がチラッとうつり込んでいます。

いやあ。
なんだか青春を感じますねえ。

夢を追う人は何歳でも素敵ですが、それが高校生だったりすると、さらに一段と眩しく感じられます。

なおカクヨム甲子園は今年も開催されるとか。
自分は年齢的に参加できませんが若い皆様の活躍を見守りたいです。

こんにちは、らくだです。

カクヨムユーザーミーティング Vol.5 ですが、好評につき、3月29日（木）から追加募集が始まりました。

詳細は公式ブログをご覧ください。

【カクヨムユーザーミーティング Vol.5】

https://kakuyomu.jp/info/entry/kum_vol5_result

- ・タイトル カクヨムユーザーミーティング Vol.5 二周年記念 SP
- ・開催日時 2018年4月20日（金）19時～21時
- ・開催場所 都内某所
- ・参加費用 無料
- ・参加資格 カクヨムの会員登録ユーザー
- ・応募締切 2018年4月4日（水）

なおイベントの内容は、

- ・第1部 トークイベント「テーマを決めた作品の作り方」
- ・第2部 プロット講評会

（※プロットシートは参加者にのみ事前配布、事前提出）

となっていますが、今回の追加募集は**第1部のみ参加可能**で、第2部のプロット講評会には参加できなくなっています。

時間や会場の都合だと思いますが、トークだけでも勉強になりそうですし、当日都合のつく皆様は応募されてみてはいかがでしょうか。

以上、カクヨムユーザーミーティング追加募集の話題でした。

こんにちは、らくだです。

第7回講談社ラノベチャレンジカップの最終発表がありました。
今回は最終選考に残っていた3作品がそのまま受賞したようです。

【発表ページ】

<http://lanove.kodansha.co.jp/award/challengecup/7/>

- ・応募総数 502本
- ・1次通過 79本（約16%）
- ・2次通過 10本（約2%）
- ・3次通過 3本（約0.6%）
- ・受賞 3本（約0.6%）

なお講談社のコンテストは2本柱になっています。
大きな違いは次の通りなので気を付けましょう。

<ラノベ文庫新人賞>

- ・2018年5月10日（木）締切
- ・40文字×34行の書式で100～150枚
- ・1次選考以上を通過すると評価シートがもらえる

<ラノベチャレンジカップ>

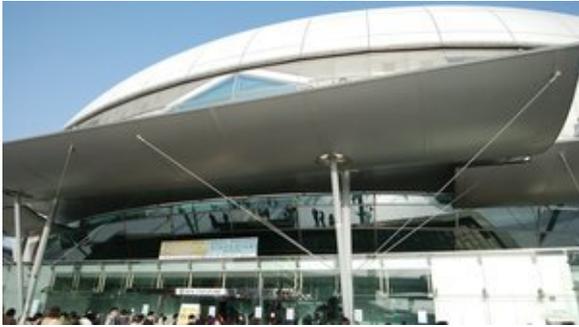
- ・2018年10月31日（水）締切
- ・40文字×34行の書式で100枚～無制限
- ・選評はないが2次選考以上を通過すると担当編集者がつく

他にも賞金の額や選考委員が違ったりしますが、「締切」「規定枚数」「選評の有無」が大きく異なるので、自分に合ったコンテストを選択したいですね。

以上、ラノチャレ最終発表の話題でした。

スターズ・オン・アイス 2018 大阪！
初日 17 時の追加公演に行ってきました！

大阪府門真市にある会場のなみはやドーム。



最近あまりにも落ち込む出来事が続いたため、母が「行ってきたら？」とすすめてくれて、思い切って直前にアリーナ席を買ったんですよ。

まあでも買うの遅かったし、アリーナの中でも見づらい席だろうな〜と、まったく期待せずに行ってみたら超・良席じゃないですか！

「ん、ちょっと待って？」

「ひょっとしてジャッジ側？」

「しかもセンターど真ん中の角席？」

普段スケート観戦をされない方には、どのくらいの幸運か伝わりにくいと思いますが、「新人賞に 5 本投稿したら 6 本通過してしまった」レベルに衝撃的な出来事です。

で、ドキドキしながら開演を待っていたら、(現地観戦では結構よくあることですが) 隣りの席の女性が話しかけてきました。

彼女いわく「自分は四国から来たけど予想以上にいい席でビックリしている」ということ。

やっぱりそうですよねー。

私も 5 本投稿で 6 本通過したくらいにビックリしてますよー。

そしていよいよ開幕すると、さすがにオリンピック・メダリストが一同に集うだけあって、内容も素晴らしかったです。

書くと長くなるので省略しますが、出演者の情報は公式サイトに掲載。

【スターズ・オン・アイス 2018】

<http://figureskate-soi.com/>

中でも一番歓声が大きかったのは宇野昌磨選手が披露した今季のショートプログラムでしょうか。

あと個人的に感動したのは、バーチャー・モイヤー組の「ムーラン・ルージュ」で、イントロが流れた瞬間会場が歓喜でざわついたのが印象的でした。

オリンピックは凄かったですもんね！

いやオリンピック以外でもいつも凄い演技をしています！

そんなこんなで最初から最後まで大興奮の一日でしたが、今回強く思ったのは、「アリーナ席は値段相応の価値がある」これに尽きます。

長年スケート観戦はしていますが、今までずっとスタンド専門（やっぱり高いですし）だったので、近くで見ると感動のレベルが全然違うということを初めて知りました。

というわけで。

スターズ・オン・アイス大阪に行ってきたよ報告でした。

なんだか普段のブログとテンションが違う上に、やたらと長くなってしまいましたが、明日からはまた投稿の話に戻りたいと思います。